

# アルカリシリカ反応抑制対策

## コンクリート中のアルカリ総量を規制

和光産業(株)鳥取第二工場

(令和7年 3月度)

工場長	品管責任者	試験係
森	徳田	徳田

### 〔アルカリ総量の計算表〕

設計基準強度 18.0—8—20

①	ベースセメントの全アルカリ (%)		0.62
②	単位セメント量(kg/m <sup>3</sup> )	(配合表に示された値)	285
③	1m <sup>3</sup> 当たりのセメント中のアルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	②×①/100	1.767
④	細骨材(陸砂)中のNacl量%		0.000
⑤	単位細骨材(陸砂)量(kg/m <sup>3</sup> )	(配合表に示された値)	643
⑥	1m <sup>3</sup> 当たりの細骨材(陸砂)中のアルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	0.53×④×⑤/100	0.000
⑦	粗骨材中のNacl量%		0.000
⑧	単位粗骨材量(kg/m <sup>3</sup> )	(配合表に示された値)	1132
⑨	1m <sup>3</sup> 当たりの粗骨材中のアルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	0.53×⑦×⑧/100	0.000
⑩			
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			

### 〔計算の結果〕

コンクリート1m <sup>3</sup> 当たりの全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )	③+⑥+⑨	1.767
国土交通省の規制値(kg/m <sup>3</sup> )		3.00以下
判定		合